

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	すくすくyell					公表日	2026 年 3月 27 日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	67%	33%	誰が何処を使用するなど、状態や介護度を考えて配置しているが、人員等でキチキチであると思う時がある。動く児等いると危ない時もある。今以上に場所は広げられないが、もう少し余裕が欲しい。 利用者数が増え日によってはごったがえしている。配置工夫必要	利用者様の心身の状況を考慮し限られた空間でも安全に配慮した環境調整を行ってまいります。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	67%	33%	適切な時もあるが、迎えや送りで不在になる時など不安である。送迎には他の人材を充てて欲しい。 医療ケアのニーズの高い利用者に対し看護師が多く配置されている。 常時の見守りが必要な児童に対し、昼食準備などやむを得ず近くから離れなければならないことがあり、もう1人いればと思うことがあります。 全員で見ると意識は持っていると思います。	業務分担、対応者が複数にならないよう声をかけスタッフ配置を行ってまいります。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	67%	33%	ワンフロアなので、見やすいが、こども達に分かりやすくなっているかどうかは疑問です。 オシメ交換の時などプライバシーが保護にくい事がある。 障害の特性に応じ、バリアフリー化や環境上の配慮は適切になされているが、構造化された環境になっているとは言えない。	プライバシーを意識してパーテーションの活用なども行っています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	83%	17%	少し狭いと思うが、空調や換気等気を配っている。バギーに乗車していて、他の児が動き易い環境を作っている。 医療ケアのニーズの高い利用者としてでない利用者の活動スペースを分けている。 静養室利用やアコーディオンカーテンで空間を仕切るなどでプライバシーや羞恥心への配慮、入眠しやすい環境を整えている。 活動スペースが狭い			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	67%	33%	部屋には限りがあるが、感染防止対策等で個別の場所を提供する事は出来ている。 静養室活用			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	注入内容の確認など、看護師だけの確認ではなく、指導員の疑問や不安点を踏まえて見直しが行われている。 努力している			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	83%	17%	業務改善に繋がっているかどうかかわからない。 意見のいただけることに感謝し、一方的なケアではなく、ニーズ把握に努めている。 保護者会実施	意見をいただいた場合共有し対応につなげています。今後も継続してまいります。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	67%	33%	業務改善に繋がっているかどうかかわからない 面談を行う機会が多くある。	スタッフの気づきに対してのヒアリングは行っています。業務改善についてはすぐできることについては対応していますが、時間が必要な場合もあります。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	50%	50%	業務改善に繋がっているかどうかかわからない 面談に第三者が参加している。	スタッフの気づきに対してのヒアリングは行っています。業務改善についてはすぐできることについては対応していますが、時間が必要な場合もあります。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	研修の機会が多い。	法廷研修はeラーニング研修も実施しています。その他実践研修も実施しています。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	83%	17%				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	67%	33%	個々のこどもに対して分析が十分出来ているとは言いがたい	適宜アセスメントを行い支援を行ってまいります		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	50%	50%	共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が出来ているかどうかかわからない。	計画書はカルテにファイリングしており常時確認が可能です。全体での把握ができるよう計画書の共有を行ってまいります		

適切な支援の提供	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	50%	50%	支援計画が共有されているとは言えない。	個別支援会議は保護者を含め担当が対応しています。ワークシートファイルにて確認できるよう対応していきます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	67%	33%	フォーマルアセスメントやインフォーマルアセスメントといった視点はない。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	67%	33%		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	67%	33%	活動よりも支援プログラム	安全に過ごすための支援プログラム、生活支援は行っています。今後活動プログラムも充実させていきます
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	33%	50%	(無回答1件) 十分でない	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	67%	33%		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	短時間でも行なうようにしている。途中でも声を掛け合って確認している。 朝、午後とミーティングを行っている。	朝・昼と状況確認し申し送りも行っています。必要な情報共有を行うことでミス減らしています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	50%	50%	声を掛け合っている。 その日あったことなどの引継ぎがない。 情報共有アプリで申し送り内容確認、必要に応じて疑問提起がなされている。 業務に終われ振り返りを実施できていない日がある	いつでも確認できるよう情報共有アプリの活用で抜けがないように確認を行っています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	83%	17%		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	67%	33%		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	83%	0%	(無回答1件)	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	67%	17%	(無回答1件)	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	33%	33%	(無回答2件)	
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	33%	67%			
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	家族とお迎え時などに声を掛けて、情報を交換している。	保護者とは毎回お話をしています	

保護者への説明等	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	83%	17%		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	83%	0%		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	83%	0%		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	83%	0%	(無回答1件)	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	67%	17%	(無回答1件)。 保護者交流会の実施	定期的に保護者交流会を開催します
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%		
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	100%	0%			
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	67%	33%	災害時に備えて、必要物品を用意できるように、来所時の準備を行うことで習慣化してもらっており、来所自体が訓練につながっている。	マニュアルの整備を行い保護者交流会などで周知していきます
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	83%	17%		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	67%	17%	(無回答1件)	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	83%	17%		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	83%	0%	(無回答1件)	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	83%	17%		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	67%	17%	(無回答1件) 計画書への記載を追加	